

「EMCなんでも相談室」

タイトル「オシロのプローブをスペアナに接続して測定する時の注意点」

Q.

製品のノイズ対策をするにあたり、プリント基板上の配線パターンや端子をオシロスコープのプローブをスペクトラムアナライザに接続して測定したいのですが、注意点はありますか？

A.

スペクトラムアナライザは、直流成分が入力されると故障の原因となりますので、オシロスコープのプローブのような接触型のプローブを利用する際は、注意が必要です。

プローブとスペクトラムアナライザの間に、「DC カット」と呼ばれる同軸型ハイパスフィルタを挿入しておけば、スペクトラムアナライザ側への直流成分の印加を防ぐことができます。